

## IV 取り組むべき施策の体系

### 4本の柱と18の重点課題

#### 1 次世代に向けた他産業との連携による農業の収益性の向上

- ① 企業等の技術・ノウハウを生かした生産性向上の取組みの推進
- ② 食品産業と連携した新商品開発等の6次産業化等の推進
- ③ 気候変動に対応し得る新技術の開発と普及

#### 2 ニーズの変化に対応した生産・販路の拡大と海外展開

- ④ 農業を取り巻く情勢の変化に対応した複合化・多角化の推進
- ⑤ 需要者のニーズに対応した生産・販路の拡大
- ⑥ 特色ある農畜産物のより一層のブランド化の推進
- ⑦ 食文化の総合力を生かした県産食材の海外展開
- ⑧ 環境と調和した農業の推進
- ⑨ 幅広い食育と地産地消の推進
- ⑩ 県産食材への信頼を支える安全・安心の確保

#### 3 地域の農業を担う多様な担い手の活躍の支援

- ⑪ 新規就農者の確保・育成と担い手のスキルアップ支援
- ⑫ 企業等の農業参入の促進など意欲ある担い手の確保
- ⑬ 女性が活躍できる環境整備
- ⑭ 担い手の経営発展に向けた農地集積等の促進
- ⑮ 多様な担い手のニーズに対応した農地整備の推進

#### 4 地域の強みを生かした里山の振興

- ⑯ 多様な地域資源を活用した生業づくりの推進
- ⑰ スローツーリズム等による人を呼び込む農村づくりの推進
- ⑱ 農村の多面的機能の発揮と安全・安心な地域づくりの推進